

今年「熱中症対策」 フジ安全衛生委員会

ふじ瓦版

FUJI CARPET NEWS

発行日 16年6月11日
NO 009

発行:環境対応企画室
ふじ瓦版は当社の社内報です
閲覧後指定の場所にファイル

梅雨時だから 「熱中症対策」の準備

重大災害の防止は当然ですが…



本社近くの海釣り風景

今年の梅雨のパターンは「前線明快型」で今年の夏は猛暑と気象予報士の森田さん（TBS）が朝（6.9）のラジオ番組で云ってました。

このパターンは過去に3回あり、いづれも猛暑とのことです。

本当かな…と思いますが、一応、信じましょう。

昨年は冷夏で各地の海水浴場はまったく商売にならず、アガツタリでしたが、私達、内装業ではしのぎやすくて助かりました。

今年のゼネコン各社さまの安全大会では熱中症対策を重点に説明がありました。

屋内作業の私達では、炎天下の作業ではありませんので、つつい、軽視してしまいましたが、昨年と異なり、猛暑となればその対策は大切です。

「熱疲労」「熱痙攣」「熱射病」この3種類では救急措置が異なるそうです。

この違いは東急建設さまの資料で確認してください。

これを分かり易く「昨日のツケ型」「北極ハワイ型」「熱帯砂漠型」「飲助の性型」と熊谷組さまがまとめてあります。

職人の皆様はどうしてもムリしがちです。

みなさまの担当現場で熱中症を発生させないためにも、この資料を使って、職人さんの体調管理のアドバイスをお願いします。